

新着図書からおすすめの5冊

毎週火曜日は、新着図書の配架日です。本日12月2日（火曜日）の新着図書の中からおすすめの本を紹介します。インターネット予約・貸出は、12月9日（火曜日）からです。

『齋藤ゼミ「才能」に気づく19の自己分析』

齋藤 孝／著、講談社／刊、請求記号：159/ Sa,25

内容：自分の奥深くにある才能に気づくことができる！ 齋藤孝が授業のなかで学生に向けて行っている質問をQ&A方式で再現し、自分の心と向き合うためのさまざまな課題を紹介する。答えを記入するページあり。

『日本に住む英国人がイギリスに戻らない本当の理由』

井形 慶子／著、ベストセラーズ／刊、請求記号：302.1/ I,23

内容：日本を離れたがらない英国人は少なくない。それはなぜか。イギリスに家を購入し、日英を往復する生活を送っている著者が、日本の素晴らしさと弱点を、日本に住み続けたいと語る英国人の視点から解き明かす。

著者紹介：1959年長崎県生まれ。作家。28歳で出版社を立ち上げ、英国の生活をテーマにした月刊情報誌『ミスター・パートナー』を発刊する。同誌編集長。著書に「老朽マンションの奇跡」など。

『いのちのケアと育み』

庄井 良信／著、かもがわ出版／刊、請求記号：371/ Sh,96

内容：教育といつとなみを、そのもっとも根源的な原義にふれて問い直す試み。臨床教育学のキーワードや、ケア・援助の専門性について考えるとともに、PISAを超えるフィンランドの教育改革を紹介する。

著者紹介：1960年北海道生まれ。北海道教育大学大学院教授。専門は臨床教育学、教育学博士。著書に「癒しと励ましの臨床教育学」「フィンランドに学ぶ教育と学力」（共編）などがある。

『大切な人を看取る作法』

大津 秀一／著、大和書房、／刊、請求記号：490.1/ Q,87

内容：「苦しさ」のサインを知る、正しい「看取りの空間」を準備する…。1000人の患者を看取った緩和ケア医が、一般の人や介護者に向け、終末期を迎えた人を看取る際にどうしたら良

いのかを伝える。

著者紹介：茨城県出身。岐阜大学医学部卒業。東邦大学医療センター大森病院緩和ケアセンター長。日本緩和医療学会緩和医療専門医。がん治療認定医。著書に「どんな病気でも後悔しない死に方」など。

『フランス人は10着しか服を持たない』

ジェニファー・L.スコット／著、大和書房／刊、請求記号：590.4/ Sc,1

内容：上質な物を少しだけ持ち、大切に使う。日常のなかにささやかな喜びを見つける。フランスの貴族の家にホームステイした著者が、興味深いエピソードやユーモアをたっぷり織り交ぜながら、パリで学んだ上質な生き方を紹介する。

著者紹介：南カリフォルニア大学卒業(演劇専攻)。ライフスタイルブログ『The Daily Connoisseur』を執筆。美しく心豊かな暮らしやシックなおしゃれを提案。

佐賀県立図書館 〒840-0041 佐賀県佐賀市城内二丁目1-41

Tel 0952-24-2900 Fax 0952-25-7049 E-mail saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp